

・第216回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成28年3月3日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
古磯 勝子 (副委員長)  
青木 敬信  
早川 富美子  
君島 理恵  
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 畠山 大

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

1月3日夜8時から放送した「すべりそうな話2016」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、お正月の特別番組として、弊社の各番組で活躍している男性パーソナリティ7名(佐藤望、DJKei、岡田真善、だいまじん・だいじ、アトム、渡辺敏彦、黒後聡佑)が、“すべりそうな話”をテーマに3分ほどの実話を話すという生放送でのトーク番組です。

普段の放送とは違う緊張感が漂う中、サイコロを振って出た目により、それぞれがすべりそうですべらない絶妙なトークを披露しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

お正月特番ならではのトークバラエティで、すべるところか、むしろ面白い話ばかりで、とても楽しい番組だった。また、登場した7人それぞれが和気あいあいとトークを楽しんでいて、その様子が目の前で見てるように伝わってきた。

委員：

これまで耳慣れた各番組パーソナリティのプライベートトークは、リスナーにとっての関心事で、今回、普段の放送ではなかなか聞くことの出来ない話が聞けて、より親近感が沸いた。プライベートトークから、各パーソナリティの人となりを垣間見たような感じがした。

委員：

各パーソナリティは、この番組の出演にあたって、何か準備をしていたのか？

事業者：

台本は用意しないことをルールにしていたが、事前に各自が3本ほど話すネタを考えてもらっていた。

委員：

それぞれの話は、ちょうど良い加減で仕込まれていた。  
やはり話は作り込まず、話がすべってしまってもいい位がちょうど聞きやすいのかもしれない。

委員：

“ベストオブすべりそうな話”に選ばれた黒後さんは、「ギュッギュッ」などの擬音を巧く使って、その話を分かりやすく表現していた。  
また、黒後さんが「胸がキュンとした」という言葉は、番組中で最もすべっていた。  
まさに、“ベストオブすべりそうな話”にふさわしかった。

委員：

“すべる”、“すべらない”の判定基準がわかりにくかった。  
話を終わったときに、その評価が音で示すなど、演出面でもう一つ工夫があっても良かった。  
また、生放送でやっているのだから、リスナーからの意見を最終的な審査の参考に加えても良かったと思う。

委員：

放送中、放送後のリスナーの反響は？

事業者：

放送の中で特にメッセージの募集はしていなかったが、メッセージが何通も届いた。  
どれも好評な内容だった。

委員：

せっかくFM栃木の看板MCたちが大勢集まったの番組だったので、冒頭の自己紹介では、各々が現在担当している番組名を紹介して挨拶してほしい。

また、プライベートトークばかりではなく、普段担当している番組の裏話を多く聞きたかった。

委員：

スタジオに7人も集まると、どうしても、うるさく聞こえてしまうだろう。

途中、さらにゲストが登場する流れは不要だったのでは？

委員：

サイコロで出た数字によって話す人を決めるルールでは、7人の出演者全員が最低1回登場するためには、確率的に考えても、かなり数多くサイコロをふる必要がある。

今回も実際、登場回数には大きな差が出ており、サイコロを使うルールに関しては、次回の放送では再検討するべきだ。

委員：

佐藤アナのオープニングコールは低音で落ち着いたトーンで印象的だった。

委員：

オープニングテーマはテンションがあがるような明るめの曲をBGMを選んでいた。

また、SEも効果的に使われていて、ところどころに作り手のセンスの良さが感じられた。

委員：

とても面白い番組だった。ぜひ、来年以降も番組を恒例化してほしい。

また、次回以降は公開生放送にして、ラジオならではのトークイベントとして楽しめるとさらによいかと思う。その際は、誰か一人を進行役として、流れを仕切っていく必要があると思う。

来年の放送を期待して待ちたい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を4月11日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 3月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし